

平成29年度議会運営委員会行政視察報告書

1. 日 程 平成29年10月25日（水）～10月27日（金）
2. 視 察 先 岐阜県可児市 人口101,297人（4月1日現在） 面積 87.57km²
長野県岡谷市 人口 49,888人（4月1日現在） 面積 85.10km²
3. 視 察 事 項 可児市 議会運営全般について、議会改革について
岡谷市 議会運営全般について、議会改革について
4. 視 察 者 委 員 樋 口 博 務 委 員 長 佐 藤 俊 夫 副 委 員 長
藤 田 明 美 委 員 白 川 克 広 委 員
大 平 一 貴 委 員
当 局 中 野 徹 総 務 課 長 補 佐
随 行 石 津 敏 朗 議 会 事 務 局 係 長 計 7 名
-

可 児 市

(1) 可児市の概要

可児市は、岐阜県の中南部に位置し、古くから飛騨路および木曾路への重要な結接点となっている。県庁所在地の岐阜市と中部圏の中核都市である名古屋市からともに30Kmの距離にあり、JR太多線、名鉄広見線で、ともに概ね1時間の位置にある。

昭和40年代後半から名古屋圏のベッドタウンとして丘陵地を中心に民間開発による大規模な住宅団地の建設が相次ぎ、急速に人口が増加した。

また、平成17年5月1日には、飛び地である兼山町と合併し人口が10万人を超え、可茂地域の拠点都市として発展をしている。

(2) 視察事項 議会運営全般、議会改革について

(3) 可児市議会の取り組み

① 議会改革のためのアンケート調査

(ア) 第1回アンケート調査（平成23年2月実施）

・調査の目的

可児市議会は、市民にわかりやすく開かれた議会づくり、議員の政策立案能力の向上、チェック機能の強化を図ることを目的に、平成19年に議会活性化特別委員会が中間報告を取りまとめ、費用弁償の廃止や政務調査費を議会だよりやホームページで公開するなど議会改革に取り

組んできた。さらなる改革を進めるため、平成22年12月に議長諮問による議会基本条例調査研究プロジェクトチームを設置し、より一層の議会改革に取り組んできた。第1回アンケート調査は、20歳以上の市民2,000人を対象に実施し、意見、提言を広く聞き、今後の議会改革に反映することを目的として実施された。政務調査費を全議員が支出し、質問選定から封入・郵送、集計・分析に至るまでの全作業を議員が行った。

・主な調査結果

市議会に関心がない 36.7%、議員の活動内容を知らない 64.2%、市民の声が市議会に反映されていると感じている 6.4%

→厳しい現状と議会改革を進める必要性を再認識

(イ) 第2回アンケート調査（平成28年1月実施）

・調査の目的

これまで可児市議会は、市民から直接選挙で選ばれた代表機関であることに自覚と責任を持ち、市民の信頼に応え活力ある地方議会の実現を目指して、情報公開や市民参加の推進など様々な改革の取り組みを行ってきた。その集大成として平成24年12月に議会及び議員の活動原則となる最高規範として「可児市議会基本条例」を制定した。「可児市議会基本条例」に基づくこれまでの議会改革は、平成23年に行った「議会改革のためのアンケート調査」の結果を基に行ってきた。前回調査から5年が経過し、それまでの改革を検証し更なる活性化と市民の声を生かす新しい仕組みの構築を目的に、市民2,000人を対象に、2回目となるアンケート調査を実施した。同調査は、選挙権の年齢が引き下げられたことに合わせ、対象を20歳以上から18歳以上に拡大して実施された。

・主な調査結果

市議会に関心がない 10.1%（前回から26.6ポイント減少）、議会だよりを「毎回読んでいる」人の 31.4%が「議会改革について進んでいる」と回答し、「進んでいるとは思わない」より多くなった。今後の可児市議会が取り組むべき課題は、「市民の意見を聴く意見交換会の充実」が44.9%と最も高く、続いて「議員の資質向上」が、44.2%となった。

→「議会の見える化」の推進 ①更なる情報公開の徹底 ②「議会だより」を軸としたわかりやすい広報の展開、市民の意見を聴く意見交換会を充実させる必要性を認識

② 議会報告会～議員と語ろう～

平成24年2月に、可児市議会として初めて議会報告会を開催し、平成24年度末までに3回開催した。平成25年度以降は、議会基本条例の制定により、毎年1回以上開催することとしている。

平成28年度以降の実績

平成28年 5月 参加者 約84名（4会場）

「平成28年度予算審査について」

平成28年11月 参加者 約86名（5会場）

「平成27年度決算審査について」

「使いやすい公民館にするには」
「地域でできる子育て応援について」
平成29年 5月 参加者 約65名（4会場）
「平成29年度予算審査について」

③ 各種団体との懇談会

・目的

市民参加の推進と情報公開のため

・根拠

可児市議会基本条例第6条第1項（市民参加及び市民との連携）

可児市議会基本条例第11条第2項（常任委員会の活動）

・これまでの主な実績

平成28年 2月18日（総務企画常任委員会） CTK、FMららとの懇談会

平成28年 6月20日（総務企画常任委員会） 道の駅「可児ッテ」との懇談会

平成28年10月31日（建設市民常任委員会） a1aとの懇談会

平成28年12月14日（総務企画常任委員会） CTK、FMららとの懇談会

平成28年12月20日（建設市民常任委員会） 公民館長の懇談会

平成29年 2月 1日（教育福祉常任委員会） 民委員との懇談会

④ 子ども議会

小学校の社会科授業の一環として、市役所や議会のしくみなどの見学と併せ、模擬議会を開催。政治や行政に興味、関心を持つよう勧めている。市長など執行部は参加せず、子どもたちが事前に議長などの役割を決めて行っている。

⑤ 高校生議会・地域課題懇談会

可児市議会では高校生議会・地域課題懇談会として、高校生が大学進学や就職によって市外へ流出する前に、様々な職業や経験がある大人と接する機会を設けることで、地域に対する愛着や当事者意識を高めること、地域の様々な課題の解決に必要な広い視野や高い専門性を身に付けさせ、ふるさと可児市の持続的な発展に寄与する人材の育成を行うことを目的とし、地方再生の一環としてこの事業を行っている。

実施にあたっては、市関係職員や地元医師会、NPO団体などにも趣旨を説明・理解していただき、連携・協力している。

当初は、岐阜県立可児高等学校が実施するキャリア教育を支援する事業として始まったが現在ではより多くの高校生を対象にすべきとの判断から、平成27年6月より可児工業高校、東濃実業高校を加えた3校で実施し、また他の高等学校等へも取り組み拡大を進めている。

これまでの主な実績

- 平成26年 7月12日 地域課題懇談会（医療関係者との意見交換）
- 平成27年 2月10日 高校生議会（高校生による活動報告・子育て関係者との意見交換）
- 平成27年 6月14日 地域課題懇談会（金融関係者との意見交換）
- 平成27年12月10日 地域課題懇談会出前講座（18歳選挙権について）
- 平成28年 3月25日 可児高等学校模擬投票
- 平成29年 2月 9日 高校生議会（各テーマで行政クロスロード手法により議論、発表）

⑥ ママさん議会

高校生議会に次いで、子育て世代の意見を市政に反映するための取り組みのひとつとして、平成28年8月にママさん議会を開催した。

ママさん議会を開催するにあたり、ママさん議会に向けた企画提案の場という位置づけでママさん議会ワークショップを事前に開催した。ワークショップでは、参加した子育て中の女性から、率直な意見を聴取することができた。また、若い世代の議会への関心を高めるため、ファシリテーターを、将来子育て世代となる高校生に行ってもらった。

そしてママさん議会の当日は、平成30年4月に開館予定である駅前の子育て拠点施設の運営、ソフト事業についての提案について、第1部ワークショップにて意見交換を行った。第2部では、議場にてママさん議員より、第1部ワークショップにてとりまとめられた意見の報告及び発表を行った。また、ママさん議員より、「子育て世代の女性の声を聞く機会を設けることについての意見書」を提出し、全会一致にて可決された。また、子育て中の母親も気軽に参加できるよう、委員会室で託児も行った。

これまでの主な実績

- 平成28年 7月24日 ママさん議会ワークショップ
参加者 子育てサークル、可児高等学校生徒、可児市議会議員
- 平成28年 8月23日 ママさん議会
参加者 子育て世代の女性、市職員、可児市議会議員など
- 第1部 ワークショップ グループに分かれて意見交換及びまとめ
- 第2部 議場での報告（第1部でまとめた意見をママさん議員が発表）、意見書の提出・採決

岡谷市

(1) 岡谷市の概要

岡谷市は、長野県のほぼ中央に位置し、諏訪湖の西岸に面し、湖と四季を彩る山々に囲まれ、遠くには富士山、東には八ヶ岳連峰を望む風光明媚な都市である。

明治初年、機械製糸を取り入れて以後、製糸業都市として急速に発展した。戦後は精密工業都市として転換を遂げ、今日ではこれまで培ってきた精密加工技術・光技術・超精密組立技術等を最大限活用して、ナノテクノロジーをベースとしたスマートデバイスの世界的供給基地の形成を目指し、地域の中核都市として発展を続けている。

(2) 視察事項 議会運営全般、議会改革について

① 岡谷市議会が独自に取り組んだ議会改革について

《平成17年度》

○議会改革に関する市民懇談会の開催

行政改革と地方分権が進む中で、岡谷市議会としても新しい時代にふさわしい議会を目指していくため、市民三団体（連合壮年会、連合婦人会、高齢者クラブ）と市議会の主催による市民懇談会を開催。議員定数問題など議会改革をテーマに意見交換を行った。

《平成18年度》

○市民三団体との懇談会

市民三団体と懇談会を開催。市政全般について意見交換を行った。（以後毎年開催）

《平成19年度》

○各種団体との市民懇談会の開催

全議員により、市民三団体、岡谷市男女共同参画推進市民の会、区長会との懇談会を開催し、市政全般にわたり意見交換を行った。

《平成23年度》

○議会改革検討委員会（任意の委員会）の設置

(1) 改革事項の抽出に関すること。(2) 改革事項の優先順位に関すること。(3) 改革の方向性及びその方法等に関すること。(4) (仮称) 岡谷市議会議会基本条例の制定に関すること。(5) その他議会改革に関すること。を所掌事務とする「議会改革検討委員会」を設置した。（～平成27年4月まで）

○市民団体との懇談会の開催

全議員により、岡谷市区長会との懇談会を開催し、議会改革等について意見交換を行った。

《平成25年度》

○第1回 岡谷市議会「議会報告会」の開催

第1回の議会報告会を開催、参加者へのアンケート調査を実施した。（参加者89名、議員18名）

《平成26年度》

○第2回 岡谷市議会「議会報告会」の開催

第2回の議会報告会を開催、参加者へのアンケート調査を実施した。(参加者67名、議員18名)

《平成28年度》

○アンケート調査の実施

「議会基本条例」の策定にあたり、主権者である市民が議会をどのように考え、何を望んでいるのかを把握するためにアンケート調査を実施した。(議会だよりへの掲載、議員持参にて直接市民に依頼、公共施設に回収箱設置等で510名から回答)

○第3回 岡谷市議会「議会報告会」～市民との意見交換会～ の開催

第3回の議会報告会を開催。市民との意見交換に重点を置き、参加者を3つの分科会に分ける形式で意見交換会を行い、あわせて参加者へのアンケート調査を実施した。(参加者52名、議員18名)

《平成29年度》

○岡谷市議会基本条例の施行

全27条で構成される議会基本条例が3月14日の本会議で全会一致により可決され4月1日施行された。

○議会改革検討委員会の設置

議会基本条例の規定により、(1) 議会基本条例の目的達成状況の検証に関すること。(2) 改革事項の抽出及び優先順位の決定に関すること。(3) 改革の方向性及びその具体的方法等に関すること。(4) その他議会改革に関すること。を所掌事務とする「議会改革検討委員会」を、全議員を構成員として設置した。

所 感

可児市、岡谷市とも、多忙の中、時間をさいていただいたことに心より感謝を申し上げたい。

今回の視察を通じて、自分たちの市は自分たちで運営していくのだといった、市民の気持ちの芽生え、改革が進んでいく過程というものを見せていただいた。いろいろと懸念は浮かんでくるが、とにかくやってみるとい言葉に大きな感銘を受けた。

両市議会の行動力により、市民が積極的に市政に関わってきている姿に触れることができた。創意と工夫をもって取り組み、成果に結びつけている。実施することの大切さを学んだ。

また、可能な限り相互理解の場を用意する等、それぞれの市の実情に合った改革が達成されているが、それに満足することなくさらなる改善を目指している。その熱意には見習うべきものがある。